

みちのくだより 宮城

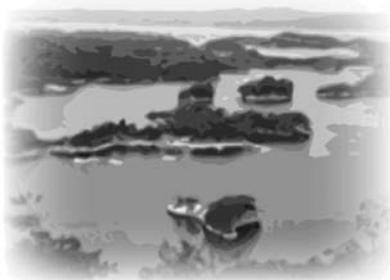
宮城の松島

(株) 東北地質
石川 澄子

私にとって宮城を代表するものの一番は「松島」です。太平洋に面し大小260余りの島々からなり、日本三景の一つとしても有名です。

3年前の震災時はその島々が緩衝材となり、津波の勢いを弱めてくれたと新聞の記事にもなりました。

地質学的には第三紀層の凝灰岩や砂岩などから出来ており、非常に浸食されやすく、その奇岩や成り立ちから日本地質百選に選定されております。



その松島湾秋の風物詩と言えば、ハゼ釣りが有名です。

昔は数珠子釣りと言って釣り針の代わりにイソメを数珠のようにしてハゼを釣っておりましたが、今はもっぱらカレイ仕掛けでおこなっています。

松島湾にひしめくハゼ釣りの船は震災後も健在で、航路の深みに隠れたハゼたちとの駆け引きもさることながら、終わった後の食も楽しみです。

秋から冬にかけてのハゼ釣りは、焼き干しにして正月用の雑煮に使う他、主に天ぷらで食いますが、一番美味しいのはハゼの洗いではないでしょうか。

1匹のハゼから2枚の刺身しか取れませんが、釣ったハゼを延々と3枚おろしにして作る洗いは、その労力に報いる以上に美味であります。



松島湾内でのハゼ釣り (H25.11.3)



当日釣ったシャコとハゼの洗い



ハゼの天ぷら

この地に生まれた事と魚たちに感謝しながら平成26年も健康で過ごせるよう、瑞巖寺に向かって祈るのであります。

みちのくだより 福島

いわき市の新名所

地質基礎工業（株）
緑川 英男

福島県は浜通り・中通り・会津の3地方に分かれております。当社は、その中の浜通り地方のいわき市にあり、東北でも気候が穏やかなところとなっています。

皆さんは福島県いわき市と言ったら何を思い出すでしょうか？

食べ物、メヒカリ・うにの貝焼き・あんこう鍋・さんまのみりん干しといったところでしょうか？

一方、名所では常磐炭鑛の流れを汲む映画「フラガール」で一躍有名となったスパリゾートハワイアンズ、映画「喜びも悲しみも幾年月」も舞台にもなったことと「乱れ髪」で有名な塩屋崎灯台、それとも1160年に領主岩城氏の妻がふるさと平泉の金色堂にならい建設された国宝白水阿弥陀堂でしょうか？

しかし、記憶に新しい東日本大震災の1ヶ月後17時16分に発生した直下型の地震で発生した地表地震断層（活断層群）を私は新たな名所として推薦したいと思います。

地震断層はいわき市西部に位置する田人町と入遠野町～藤原町の2系統の場所に発生しました。

この地震断層の名前は、井戸沢断層西側トレース（または塩ノ平断層）と湯ノ岳断層と呼ばれております。この地震で、一度に2つの地震断層が発現しました（実際はわずか数秒の間に井戸沢断層⇒湯ノ岳断層の順で割れたらしい）。

この活断層は東北地方太平洋沖地震（2011.3.11）の海溝型超巨大地震に誘発されて発生した最大の内陸地震が現れたものであり、近年、日本で初めて出現した引張り型の「正断層」であることが他に例を見ない特異なものであるため、特に希少価値があります（直近の正断層発生から約400年のタイムラグがあるそうです）。

いわき市田人地区地域振興会では、当時の悲惨な状況、苦労を忘れないよう、さらに、学術的な面と地域活性化の材料として断層を残す活動は行われているのですが、地元では希少価値への理解が浅いことや、金銭的事情などから野鳥断層のように発生した当時の様子をメモリアルモニュメントとして残すことは出来ないようです。

残念ながら、これら断層は発生した露頭状況が風化などの影響により、徐々に失われてしまい、数年後、十年後にはわからなくなってしまうと思います。

しかし、田人公民館には断層に関する資料や写真が展示されています。

ぜひ、皆さんも時間がありましたら、田人公民館へ立ち寄り資料を閲覧後、断層を観察して下さい。発生した断層の大きさやそれに伴う地形の変化、断層の沿う形で杉の木が傾倒している様子が観察できると思います。

井戸沢断層（仮称：塩ノ平断層）

いわき市田人町旅人滑石地区～いわき市田人町綱木地区

深さ：約5 km 延長：十数 km

形態：正断層（卓越）、発生した段差（変位量）は最大2.1 m高角西傾斜～垂直、右横方向に0.3m内外のズレ

断層方向：北北西～南南東方向、塩ノ平集落で2方向に分岐し、北方向に延びるものが綱木集落へ

前回の活動履歴：推測約15000年前